

「私たちの地球、私たちの未来、救うのは今」

世界環境デー
* 6月4日 *



「どうやって直すのかわからないものを、
こわしつづけるのはもうやめてください」



「あなたが世界を変える日」
セヴァン・カリス=スズキ/著
その12歳の少女のスピーチに、世界中が感動！
大人たちの反対にめげず、4人の仲間たちとブラ
ジルを訪れた少女が、各国首脳が居並ぶ本会議場
で6分間のスピーチを語るまでの経緯も収録。

世界各地での「グレタのスピーチ」も多数収録



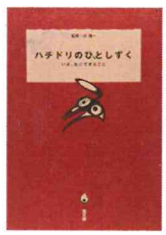
「グレタ たったひとりのストライキ」
マレーナ・エルンマン ほか/著
11歳のとき、授業で環境問題の映画を観てシ
ョックを受けて以降、摂食障がいになり10kg
痩せる。ごく親しい人としか話さなくなり、ア
スペルガー症候群、選択性緘黙症と診断される
が気候問題は独学を続けていった。

アザラシの赤ちゃんが教える地球温暖化のシグナル



「流水の伝言」
小原 玲/著
流水の上で生まれるアザラシの赤ちゃん。
しかし、近年流水がもろくなり、アザラシ
の赤ちゃんがおぼれている。
地球温暖化を目の当たりにした写真家が
送るメッセージ。

これは ちいさな力の大切さを教えてくれる
南米アンデスの 古くて新しいお話——



「ハチドリのはとすく」 辻 信一/監修
森が燃えていました。ハチドリはくちばしで水を
1滴ずつ運んでは火の上に落としていきます…。
いま私たちにできることは何なのか。
坂本龍一や C.W.ニコルなど環境問題を考える
人々のインタビューを収録。

宇宙規模で地球を見ると大切なことが見えてきます。



「地球がもし100cmの球だったら」
永井智哉/著
地球がもし100cmの球だったら
富士山は0.3mm
エベレストは0.7mmの高さ。
飲む水はスプーン一杯
空気の層は、1mmしかありません。

この現実を目を背けますか？



「不都合な真実 2」
アル・ゴア/著
過去130年の間で、最も暑かったのは2016
年である。もう知らんぷりは許されない！アメ
リカの元副大統領アル・ゴアが地球の瀕死の症
例を紹介し、気候の危機への解決策を提示す
る。映画「不都合な真実2」の書籍版。

私たちの食の現実の姿を現す指標



「フード・マイレージ」
あなたの食が地球を変える」
中田哲也/著
日頃の食生活において、フード・マイレージを少
しだけでも意識することで、産地や生産者に思い
をめぐらし、地球環境にもつながっていること
を感じるきっかけになる一冊です。

なぜ北極のシロクマは泣いているのか？
「えんとつと北極のシロクマ」



藤原幸一/著
地球温暖化の影響で、20年前より海が凍る期間
が短くなっている北極。シロクマたちにとっては
生きづらい環境となり、さらには、えんとつのけ
むりから汚染物質ががせまってくる……。
ぼくたち人間は、シロクマや地球にこれから何を
残そうとしているのでしょうか？

世界はとても困っている



「クジラのおなかからプラスチック」
保坂直紀/著
ストロー、スーパーのレジ袋、ペットボトルとい
ったプラスチック製品が川や海に流れ、ゴミとな
ってしまう。このままでは2050年に海の魚の
重量を超えるといわれるプラスチックごみ。
地球温暖化にらぶ環境問題として、いま世界が
注目しています。

「貧乏とは少ししか持っていまいことではなく
無限に欲があり、いくらあっても満足しないことです」



「世界でいちばん貧しい
大統領のスピーチ」
2012年リオデジャネイロで環境が悪化した
地球の未来について話し合われました。
これといった名案が出ない中、南米ウルグ
アイのムヒカ大統領の演説が始まりました。

「MOTTAINAI」は環境保護の合言葉！



「もったいない」
プラネット・リンク/編
ノーベル平和賞受賞者でケニア共和国環境副大
臣のワンガリ・マータイが日本で見つけた言葉
「もったいない」。日本人が忘れていたリデュ
ース(削減)、リユース(再使用)、リサイクル(再利
用)の3Rを提言する。英文併記。

人類が存在する意味、果たすべき役割とは何か——。



「いのちと環境 人類は生き残れるか」
柳澤桂子/著
環境問題と言われるけれど、そもそも環境とは何
だろう。なぜ環境が問題になってしまったのだろ
う。私たち人類が環境にはたしている役割とは何
だろうか。
生命40億年の流れの中から環境の本当の意味
を考える。